立教大学経済研究所公開講演会





国時 2022年2月19日(土)13:30~17:30

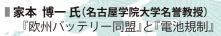
オンライン開催(Zoomウェビナー)



●司会・コーディネーター 遠山 恭司(本学経済学部教授)

報告者

■蓮見 雄 氏(本学経済学部教授) EUのクリーンモビリティ戦略と新産業戦略



- ■李 在鎬氏(広島市立大学教授)、
- ■ステファン ハイム 氏(京都大学准教授)、
- ■垣谷 幸介氏(豊田汽車技術中心(中国)有限公司)、
- ■塩地 洋 氏(鹿児島県立短期大学学長)

車載2次電池のバリューチェーンと日中韓における 企業間分業関係:中国での実地調査を踏まえ

■ステファン ハイム 氏(京都大学准教授)

中国におけるEVバッテリー産業の構造と展開

■垣谷 幸介氏(豊田汽車技術中心(中国)有限公司))

中国NEV市場と動力電池を巡るメーカー戦略の考察 ~トヨタ自動車の事例を中心に~

■李 在鎬 氏(広島市立大学教授)

現代自動車グループの脱炭素化の移行期における両利きの経営

●討論者

■清 晌 一郎 氏(関東学院大学名誉教授)

●対象者

本学学生、教職員、校友、一般

●申し込み

事前申し込み 要

以下のwebサイトよりお申し込み下さい。※2月18日(金)までに、ZOOMのIDとパスワードを送信します。 https://docs.google.com/forms/d/1b4lnjO9tZXjohOVSnVgidx3yvoZlBenT7u5o3g9Tqc8/

参加費 無料 主催:立教大学経済研究所

共催:立教大学経済研究所プロジェクト研究「コロナ危機とEU統合の再検討」、

立教SFR共同プロジェクト研究「欧州におけるEVシフトと生産・インフラ・ネットワークの再構築と日系企業への影響」

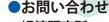
本公開講演会は、立教大学経済研究所プロジェクト研究「コ ロナ危機とEU統合の再検討」、及び立教SFR共同プロジェク ト研究「欧州におけるEVシフトと生産・インフラ・ネットワー クの再構築と日系企業への影響」の活動の一環として行われる。

2019年末、EUは、新たな成長戦略として欧州グリーン ディールを打ち出し、COVID-19危機を契機として合意され たEU共同債に基づく復興基金の中核に位置づけられた。 2050年ゼロカーボンを実現するべく、2021年には国境炭素 調整メカニズムの提案を含む一連の法令パッケージ(Fit for 55) が追加され、EUは脱炭素化への歩みを速めている。

EUは、これまでも温室効果ガス削減に取り組んできたもの の、交通部門では内燃エンジンが主であったため、その削減は 遅々として進まなかった。この状況を打破するために、EUは、 パリ協定以降、自動車の電動化(EV)を含むクリーン・モビリ ティ戦略を強化し、それは欧州グリーンディールの構成要素の 一つとなり、2020年12月に「持続可能なスマートモビリティ 戦略」を打ち出している。今や、EVは交通部門の脱炭素化にとっ て欠くことのできないものとなっている。

そして、現在、その先頭を走っているのが、EUと中国である。 自動車産業の電動化は、インテグラル型からモジュラー型へ製 品アーキテクチャのシフトを伴い、バリューチェーン全体の変 革をもたらす可能性がある。自動車産業は「産業の中の産業」 と呼ばれるように、他の産業への波及効果が大きい。

そこで、「自動車産業の電動化の移行期におけるバリュー チェーンと企業間分業~日中韓の比較~」(科研費基盤研究 (C) 20K01856、研究代表: 李 在鎬) に取り組んでいる研 究者の方々の協力を得て、公開講演会「欧州とアジアにおける EVシフトと自動車産業」を開催する。



経済研究所

E-mail: r-inst-e@rikkyo.ac.jp TEL: 03-3985-4121





